



第4領域

「地域と世界を生き生きと つなぐ環境情報の架け橋」

（環境情報の世界発信を通じた日本および各地域
の共時的精神空間の形成）

この領域は環境に関する情報を世界へ効果的に発信し、コミュニケーションする手法を考えることを目的としています。

地域の人々と学生の交流からごみ問題を考える

＜研究・活動名＞マレーシア移民集落における衛生環境改善のための環境認識研究
と学生ボランティア活動

＜代表者／団体＞早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター助教 岩井雪乃
WAVOC 主催「海外ボランティアリーダー養成プロジェクト（ボルネオ）」

マレーシア・サバ州・コタキナバル市において、急増しているフィリピン人移民集落でのゴミ堆積問題に対して、その改善のため4つの研究・活動を行っています。

- ①民族固有のゴミを含む環境認識のあり方及びゴミに対する行動選択の過程の解明
- ②ゴミ問題の改善を通じての移民集落の衛生環境と海岸環境の向上
- ③ゴミ問題に対する協働を通じてのサバ人と移民の関係改善
- ④マレーシアでの活動体験から「幸せ」を問いなおすメッセージを日本社会に対して発信

本プロジェクトは、NHKでも活動内容が放映されたり、学生OBを巻き込んだ各種活動が派生するなど、大きな期待と注目を浴びています。

（2009年1月より半年に1回の審査を受けて継続中）

★第4領域の新規採択案件

以下の2つの研究・活動が2010年7月から新たにスタートしています。

○地域社会との連携による環境日本学の創成とその情報発信システムの構築（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授 天児 慧／日本環境ジャーナリストの会）

○W-BRIDGEの成果を踏まえた環境・文明・感性に関する知のリーダーの対話 ― 東洋的感性を世界に発信する（早稲田大学国際部・留学センター准教授 江 正 殷／文明と環境を考える会）

なお第4領域では、プロジェクト全体の情報発信機能を担うものとし、学術誌「BRIDGE」の発行準備をはじめ、さまざまな情報発信活動を実施しています。



写真 上 : マレーシアでの活動
 下右 : 現地主婦へのエコバッグ作り指導
 (全て岩井プロジェクト)
 下左 : 研究会風景
 (天児プロジェクト)



W-BRIDGE では、活動設計→研究→評価→実行のサイクルと社会への情報発信を万全なものとするために、下記の活動を行っています。

- ・ 効率的な個別研究のための情報の収集及びテーマ設定、評価指標の開発と評価実施
- ・ 個別研究委託の成果のとりまとめ支援
- ・ シンポジウム・研究発表等イベントの開催
- ・ 組織的な情報発信
 (公開講座、学術誌「BRIDGE」、研究レポート等情報発信体制の整備)

◆執行組織 (運営委員兼任)

代表	堀口 健 治 (早稲田大学副総長)
代表代行	堀 尾 正 毅 (早稲田大学)
副代表	平 田 靖 (ブリヂストン)
事務局長	永 井 祐 二 (早稲田大学)
研究マネジメントチームリーダー	岡 田 久 典 (早稲田大学)
研究員	中 島 勇 介 (ブリヂストン)

◆運営委員

永 田 勝 也 (早稲田大学)
勝 田 正 文 (早稲田大学)
碓 井 俊 一 (ブリヂストン)





おわりに

W-BRIDGE ってどんなところ？

W-BRIDGE に出会ってから知らぬ間に
世界が広がっていました。

W-BRIDGE にはたくさんの宝物がつまっています。
笑顔、自然、生命、歴史、暖かさ

これらの宝物が人と人をつなげていき
それは世代を超えた深い絆を生み出していました。

環境に対する取り組みを通じて環境という存在の可能性
人間の可能性について触れることができました。
私たちの環境への取り組みではどうしようもできない
遠い存在であると思っていた場所へと連れて行ってくれました。
W-BRIDGE はまさに環境界の架け橋です。

今年も、W-BRIDGE からまかれた種は芽を出し
日光を浴びながら成長していき
やがて、それぞれが、未来へつながる立派な橋となっていくでしょう。



W-BRIDGE

「W」と「B」の間の二重線、ここに「二つの架け橋」の思いを込めました。つまり、産学の架け橋、そして、生活者との架け橋、の二つを表しています。また「I」の部分は、環境保全の代表的な対象である「木」のイメージ、そして青い部分が「地球」を表しています。私たちは、地球環境分野において、従来の産学という連携に加え、地球に生活している人々をも結ぶ二つの架け橋、名前の通りダブルブリッジになりたいと考えているのです。



写真 上から順に
 全国学生環境ビジネスコンテスト（西尾プロジェクト）
 現地小学校での環境教育（岩井プロジェクト）
 菜の花プロジェクトの畑（加藤プロジェクト）
 実習地での集合写真（秋吉プロジェクト）

W-BRIDGE

'10年度活動報告

20



2010 年 12 月 8 日 発行

発行 早稲田大学環境総合研究センターW-BRIDGE

〒162-0041

東京都新宿区早稲田鶴巻町 513

研究開発センター 3-102

TEL: 03-5292-3526 FAX: 03-5292-3527

E-mail: w-bridge@list.waseda.jp

URL: www.w-bridge.jp/

制作 W-BRIDGE

協力 松元貴志、西尾ゆかり

2010 Printed in Japan © W-BRIDGE